

みずほまちなか会議を開催しました

11月24日（日）夜7時から、町民会館、長岡コミュニティセンターの2か所で、「みずほまちなか会議」を開催しました。全議員が2会場に分かれ、住民の皆様と意見交換や質疑応答を行いました。昨年までは、議会報告会を開催していましたが、今年から議員が率先して地域へ出向き、住民の皆様と幅広く意見交換の場を持ちたいと名称を変更し、対話集会の形式に変えました。当日は、両会場合わせて22名の方にお越しいただき、活発な対話ができました。ご参加ありがとうございました。なお、詳細は町ホームページをご覧ください。

住民からの意見・要望

- ・愛宕町の中通りを、通学路の安全のために、道路を拡幅してガードレールを設置してほしい。
- ・立川断層に関する広報により、農業などの後継者問題や資産価値の下落が心配されるが、各種選挙で投票率が低いが、町は対策を講じているのか。
- ・国民健康保険の改定により、運営が市町村から都道府県になるといった話が進んでいるが、保険料値上げと給付のばらつきが不安。
- ・東日本大震災による、町への避難者は何人いるのか。また、その人たちへの支援は。
- ・岩蔵街道の二中付近の歩行者用照明が暗い。
- ・二小スクールゾーンの通行止め看板が壊れているので新しくしてほしい。
- ・羽村市を参考に、町長と住民との対話集会を持ってほしい。
- ・介護保険に関する、町職員の対応について。
- ・町職員の窓口対応のありかた、苦情への対応について。
- ・サマーフェスティバルのありかたについて、一部地域の住民しか参加しないため廃止も検討すべき。



長岡コミュニティセンター

住民からの意見・要望

- ・町の発展を考えた時、子どもを増やすための施策を考えるべきでは。
- ・モノレールを早期実現してほしい。横田基地軍民共用を容認し、東京都に更に働きかけるのも一つの方法では。
- ・せっかく校庭の芝生化を実現したのだから、はだして活用することを積極的に進めるべき。（健康、健全育成に効果的）
- ・学力向上も大切だが、健康はもっと大切である。特に、0歳～5歳の体力づくりに力を入れるべき。
- ・先日、横田基地でパラシュート訓練が行われたそうだが、近隣の企業の敷地に降りたとか、噂が立った。事実はどうなのか。そうした情報が住民になかなか伝わらない。出来る限り住民に発信してほしい。
- ・町の高齢化率は。
- ・独身者が多い。婚活などの取り組みも必要では。
- ・回廊計画もいいが、あまり観光客は期待できないのでは。大きなお金をかけるなら、もっと別の施策で活性化を図ることを考えては。
- ・「ミズホ笑夢スポーツクラブ」では年齢の幅も広く、子ども達がバスケットなどに取り組んでいるが、やればやるほど上手になり、上達が早くとても楽しみである。もっと、多くの人に参加してほしい。



町民会館



狭山谷公園に設置されている健康器具

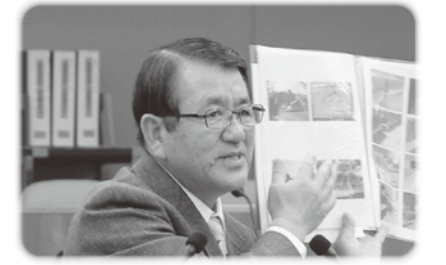
町の高齢化率は、25年11月で23%を超え、65歳以上の高齢者も7、921名となった。多くの住民は、松原中央公園に設置された健康器具や緑道、残堀川側

道でのウォーキングなどで、筋力増強や生活習慣病予防に努力している。そこで、年々増加する医療費の引き下げのためにも、関係各課と連携し健康器具を更に設置するなど、地域の健康づくりの施策に取り組みむべきと考えるが、町長の所見を伺う。

町長 町民の健康保持を支援するために、松原中央公園を始めとして、健康器具を増設している。今後も、誰

こんな質問もありました
介護保険料と利用料の独自軽減策を
町長 さらに検討を続ける。

もが利用できる健康器具を設置したい。すでに、生活習慣病の予防対策として、保健師による訪問指導を強化しているが、実際に指導に当たる保健師や指導を受ける人の意見を参考に、健康器具の設置を進める。今後とも関係各課が連携し、遊具や健康器具の配備に取り組み。



都市公園や緑地へ 更なる健康器具の設置を

大坪 国広 議員（日本共産党）

町長 関係各課が連携し
配備に取り組み

住民に望まれる まちづくりの実現に向けて

尾作 武夫 議員（自民新政会）

町長 協働のまちづくりを目指す



質問 行政が住民に望まれるような個性を持ったまちづくりの実現に向け、住民意識を育てつつ進めていこうとするとき、相応の時間が必要である。構想や計画の状況による見直し、運用などについて協議を重ね、成果が見られるまでには、すぐに数年が経ってしまう。望ましいまちづくりの実現のためには、長期の取組みを覚悟しなければならぬ。そこで、わがまちをどのよう個性豊かなまちにしていこうと考えているのか、町長の所見を伺う。

町長 第4次長期総合計画で、将来都市像を「みらいに ずっとほこれるまち」としたのは、この町に暮らす人々が、日々の営みの中で築き上げた文化や歴史に、普遍的な意味を見いだし、その上で、未来を描くことのできるまちづくりを意識したからに他ならない。26年度には、第4次長期総合計画後期基本計画の策定に着手するが、町民意識調査などを通じて、議員を始め多くの町民のご意見を伺い、協働のまちづくりの実現を目指す。



玉林寺公園に設置された「村山土佐守」(殿ヶ谷地区)